

ブックちゃんの

2026年6月1日発行

ふじのみや探検

第49号 しらとりやま
白鳥山のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284



しらとりやま
白鳥山は、静岡県（富士宮市内房）と山梨県（南部町万沢）の境にあり、山頂が県境となっています。高さは、568mあり、「山梨百名山」の中で一番低い山で、別の名を城取山とも言われます。

※「関東の富士見百景」にも選ばれており、すぐそばを富士川が流れています。内房小学校の校歌には「♪白鳥山のみどりこく……」と白鳥山がうたわれています。この山のひみつをさがっていきましょう。

※「関東の富士見百景」は、富士山のながめがいい場所を選び、まわりの景色を保ったり使ったりすることへの支援をとおして、美しい地域づくりが進められることを目的として実施されています。

ひみつ1 なぜ、白鳥って名前なの？

伝説では、ヤマトタケルノミコトが、東国の蝦夷を討った帰りに、病気で、この山の中でなくなり、ながながら白鳥に姿を変えて、都の方に飛んで行ったということから、白鳥山と名づけられたと言われています。また、鎌倉時代中ごろ、一羽の白鳥がこの山に住みつきました。それからというもの地鳴りや山くずれが次々と起き、村人たちを苦しめました。白鳥はヤマトタケルノミコトが姿を変えて現れたのだとおそれた村人たちは、白鳥天神を建て、白鳥とヤマトタケルノミコトの霊をまつりました。これが由来だとも言われています。現在、山梨県の万沢には、「白鳥神社」がまつられています。

ひみつ2

城があったの？

南北朝時代に「観応の擾乱」(1350年代)とよばれる、室町幕府内の足利尊氏(室町幕府の最初の将軍)と直義兄弟の戦いがありました。そのとき、直義軍が陣を構えたのが白鳥山で、自然の地形を利用した山城が作られました。

戦国時代には、海を目ざす武田氏と領地拡大を図る今川氏との争いの場として、重要な場所で、この山頂には物見をかねた山城がありました。この城は、今川氏がつくり、武田氏がうばい強固なものにしました。城があったあとがわかる、陣馬、太鼓打場、物見平などの地名が今も残されています。また、生活に必要な湧水の様子も見られます。1535年に武田氏(武田信虎—信玄の父)と今川氏(今川氏輝—義元の父)とが、初めて白鳥山の万沢で戦いました。決着はつきませんでした。また、武田信玄の駿河侵攻(1568)の際には、のろし場としても使われました。



湧水の場所の様子

ひみつ3

のろしって何？

スマートフォンなどが無い時代に、情報を伝えるために使われました。昼は煙をあげ(まきや火薬、あるいはもみがらを燃やしたのではないかと考えられています。)夜は火を基本にしました。場合によっては、鐘や太鼓、ほら貝なども使ったそうです。戦いの状況を知らせたり応援を求めたりする場合など赤、白、黒の三色を用いたと言われています。また、一筋の煙と二筋の煙でそれぞれ伝える内容を決めておけば、2つの情報を伝えることもできます。白鳥山には、武田側ののろし台があり、駿河(静岡)の情報を甲斐(山梨)に伝えていました。

どのくらいの速さで伝わるのでしょうか？川中島の戦い(1561)のとき、上杉謙信軍の川中島への進出について、長野県の海津城にいる武田側の家来から、160 km離れた武田信玄の所(山梨県の甲府にあるつつじが崎の館)まで、2時間で伝えたと言われています。では、実際にどのくらいの速さで伝わるのか、1988年3月13日山陽新幹線新尾道駅開業を祝うイベントで実験されました。なんと260 kmを2時間で伝えられたのです。



のろし台跡(復元)の様子



ひみつ4 どんな伝説があるの？

白鳥山と名前がついた理由も伝説ですが、次のような伝説も残されています。

- 1 昔々、都の方から白い大きな鳥が飛んできて、白鳥山に舞い降りて、富士川を見ていました。すると内房村からどんど焼きの煙が上がってきました。白い鳥は、けむたいのか村の方に向かって羽ばたきをしました。それを見た村の人は、どんど焼きの煙をあげるのはいけないことだと思い、どんど焼きをやめました。
- 2 白いひげをはやしたおじいさんが、どんど焼きのたびに、山の中腹あたりに出てきて、「ホーイ、ホーイ」とよび、おそろしい顔や奇怪なしぐさでどんど焼きのじゃまをしました。このようなことやのろしと見間違える可能性があるため、周辺の地区では今でもどんど焼きを行っていません。
- 3 武田軍が、今川軍との戦いで山にたてこもりました。食事の際に米をとぎ、川水が白くにごったので、白研山ともいったと伝えられています。
- 4 攻められて城に立てこもった場合、水がないことは命にかかわります。そこで、白米を流し、川水のように見せかけ、水があるようにあざむきました。そして、城を囲んでいてもむだだと思わせたと言われています。いわゆる白米伝説の一つです。
- 5 1264年日蓮聖人が身延に入山する途中、釜口峡あたりで白鳥山をながめながら、山の姿がいのに見とれ、この山を日蓮宗の聖地にと考えました。しかし、この山の姿が仏具の天蓋（仏様の頭上をおおう尊いシンボル）に似ていて、縁起が良くないので、聖地にするのをやめて、身延山を聖地にしたと言われています。

ひみつ5 白鳥山がくずれたの？

1705年、梅雨末期の集中豪雨により白鳥山の一角がくずれ、内房境川をせき止め、そのせきが切れると内房の塩出集落の家屋を押し流し、死者35名を出す大惨事となるできごとがありました。この災害後、集落の全戸が安全な現在の所に移ったそうです。1707年の宝永地震の際には、東斜面が大きくくずれて、流れ出した土砂により、富士川がせき止められてしまうという災害が起こりました。これにより、橋上の集落で8人、長貫村で14人、計22人の人が亡くなりました。富士川の流れは、流出土砂で3日間止められました。稲子川下流のほうにまで水がたまり、当時の稲子集落では、水面の上昇を心配したほどです。3日後、せきとめた土砂が決壊し、下流部をおそい、下流でも大きな被害が出ました。

この147年後の安政東海地震でまたしてもくずれ、橋上で6人亡くなられました。くずれたことにより、富士川の流れは東に移りました。災害で犠牲になった人の霊をなぐさめるため、地震墓が橋上の集落に残されています。この地震墓は、集落から離れた白鳥山の麓近くに建っています。これは、ここより南側に、土砂流出の被害をうけないように家を建てるな、白鳥山に近づくなと教える境目を示したメッセージとも考えられています。



くずれた所の様子



この山の中にある白鳥山森林公園は、道路や駐車場、トイレが整備され、富士山のながめもよく、観光に適しているということ、および、道路やトイレのそ^かうじ、草刈りなどこの地を整備している方々がいたので、※「恋人の聖地百選」に指定されました。山頂には、鐘とハート形のモニュメントが置かれています。ここから、富士山の雄大な姿がながめられます。

※「恋人の聖地百選」とは、地域活性化支援センターが主催する「恋人の聖地プロジェクト」により選ばれたロマンティックな観光スポットのこと。全国に140か所ほどあり、地域の新たな魅力づくりに貢献しています。



まめ知識 全国にある白鳥山

静岡県には、伊豆の国市と伊豆市の境にあります。標高 263mで、※柱状節理が見られる小高い山です。全国を見渡すと、宮崎県えびの市（1363m）、熊本と宮崎の県境（1639m）鹿児島と宮崎の県境、新潟県糸魚川市と富山県朝日町にまたがる山（1287m）愛知県設楽町（968m）などにあります。※柱状節理とは、溶岩が冷えて、5角形や6角形などに規則正しく柱状に割れてできたもの

『第49号・白鳥山のひみつ』は、次の資料を参考にして作りました。

- 1 『白鳥山「城」-ふるさとを伝える-』 白鳥山を創造する会 2022.10
- 2 『白鳥山城と万沢・内房郷-調査報告書-』 山梨県富沢町教育委員会 1997.6
- 3 『中世城郭史の研究』 小和田哲男 2002.5
- 4 『湧 -Yuu- 富士のかさ雲』 渡井一峰 2016.4
- 5 『図説駿河・伊豆の城静岡』 郷土出版社 1992
- 6 『かわのり36号、37号』 芝川郷土史研究会 2011.11 2012.10
- 7 『富士宮市の道祖神 改訂版』 富士宮市教育委員会 2013
- 8 『やまなしINDEX』 2014.2
- 9 『芝川 歴史と風土』 唐紙一修 2022.8
- 10 『芝川町誌』 芝川町 1973
- 11 『広報ふじのみや』 2022.5
- 12 『内房村誌』 内房尋常高等小学校 1913
- 13 『富士宮市文化財年報 第3号』 富士宮市教育委員会 2014.3.20

